

「3Way Feedback方式」と「Input-Output方式」

独自のシステムが威力を発揮

旧両国予備校で長年にわたり、医歯系大受験指導に携わってきたベテラン講師陣が設立した少人数制予備校が「メデュカパス」。私立医学部に特化した独自の教育システムにより、毎年、全在校生の7割が合格を果たしています。同校の指導の特色を田村和香校長にお聞きしました。



メデュカパス校長

田村 和香氏

3週間かけて1つの
テーマを定着させる

——「3Way Feedback方式」という独自の教育システムを導入されています。

田村 以前から実施していた教育システムですが、生徒や保護者の方々に、より特色をイメージしてもらいやすくするために、今年度、命名しました。3つの段階を踏んで、学んだ知識の完全定着を図る方式です。

Feedback I（自律的 Feedback）は、入学時にクラス分けテストを行い、各自のレベルに合ったクラスで授業を受けます。予習を必須にしていますが、全問解答しなくてもかまいません。現時点で自分はどこまで分かっているのか、明確にしておくから授業に臨むことが予習の目的です。理解が不足している部分は授業でしっかり聞いて、授業後に復習し、分からない部分は先生に質問して、疑問を解消します。この予習→授業→復習の流れを確実に消化させるた

めに、朝9時から夜9時までメデュカパスにいることを義務づけています。

Feedback II（客体的 Feedback）として、翌週に、前週の授業で学んだ内容の「確認テスト」を実施します。1日1教科、50分のテストです。私立医学部の試験時間は60分が主流ですが、同様の分量の問題に50分で取り組み、解くスピードも鍛えられます。「確認テスト」は、当日採点して返却し、間違えた問題を復習して、よく分かっている部分は再度先生に質問します。クラス別に「確認テスト」の成績上位3名を掲示しており、生徒の励みにもしています。

Feedback III（主体的 Feedback）は、さらに次の週の土曜日午前中、間違えていた問題をすべてやり直す勉強です。こうして、1つのテーマを3週間かけて完全に定着させるようにしているわけです。

教えたことは忘れない
大学入学後も大いに役立つ

——もう1つ独自の教育システム「Input-Output方式」があります。

田村 週2回、80分の授業です。3〜4名のグループを編成し、生徒が自分で選んだ問題の解き方を交代で発表します。事前に取り上げる問題を明示し、他の生徒も予習してから臨みます。先生から教わる受け身の形は十分に発達していても、人